

昨今の事故情勢を踏まえた交通安全対策に関するワーキングチーム
令和元年5月21日(火)

警察庁 説明資料

警察庁 交通局

現在講じている高齢運転者に対する警察庁施策の例

自主返納しやすい環境の整備

運転適性相談の充実

医療系専門職員
の窓口配置

30人
(平成29年4月)

約2.2倍

65人
(平成31年4月)

相談の受理件数

49,145件
(平成25年)

約2.0倍

100,174件
(平成29年)

運転免許証を返納しやすい環境整備の推進

【自治体等における支援施策の例】

- ・バス運賃の割引 ・タクシー運賃の割引 ・鉄道料金の割引 ・交通系ICカードの交付
- ・食材配達利用料金の割引 電動車いす購入料金の割引 自動車の廃車手続無料 等

自主返納件数

137,937件
(平成25年)

約3.1倍

421,190件
(平成30年)

運転経歴証明書
交付件数

107,268件
(平成25年)

約3.3倍

358,740件
(平成30年)

運転経歴証明書



自主返納のポスター



安全運転サポート車の普及啓発

関係機関・団体や民間の事業者等と連携して試乗会等を開催

(平成30年中) 回数: 1,086件 対象人数(概算): 約17万人

交通安全教育等の各種機会において、普及に向けた啓発を実施

先進安全技術の限界や注意点についても、正しく理解する必要

試乗会の状況



現在講じている子供の交通事故に対する警察庁施策の例

通学路の交通安全の確保

- 関係省庁と連携し、通学路における交通安全の確保に向けた緊急合同点検を実施(H24.5～25.8)。
- 警察による対策が必要な箇所(19,715箇所)については、**H29年度末までに99.9%(19,687箇所)において対策を実施済み。**

【警察による通学路の交通安全対策のイメージ】



【交通指導取締り】

通行禁止違反等の取締り
交通監視活動

【交通安全教育】

交通安全講話
模擬信号機等を用いた道路横断等訓練
歩行者シミュレーターを用いた横断訓練
通学路における街頭指導 etc.

ゾーン30の整備

- 生活道路における安全を確保するため、道路管理者と連携して「ゾーン30」を整備。
- 平成30年度末までに、**3,649か所で整備済み。**

【「ゾーン30」の整備イメージ】

ゾーン入口の対策

- 区域規制標識の設置 (30 区域 ことから)
- 路面表示(法定外)の設置 (ゾーン 30)
- 大型通行禁止規制等の実施

ゾーン周辺の対策

- 信号制御の見直し
- 右折車線の設置及び進行方向別通行区分規制

ゾーン内の対策

- 最高速度規制の実施 (30 区域内)
- 路側帯の設置・拡幅及び中央線の抹消
- ハンプ等の設置

< 凡 例 >

対策名	公安委員会の対策
対策名	道路管理者の対策
対策名	公安委員会又は道路管理者の対策

その他の施策

- 保護者や民間ボランティア等により、**子供の見守り活動を実施。**
- 生活道路・通学路における重大交通事故の抑止等のため、**可搬式速度違反自動取締装置の整備を推進。**

【見守り活動の例】



【可搬式速度違反自動取締装置】

